

不退転

第 56 号
東江中学校
校長 神元 勉

情報教育講演会



写真①

2月29日(月)の6校時に、1・2年生及び、保護者を対象に、「情報教育講演会」を行いました。

「ネット・スマートフォン」のルールとマナーを演題に、ネットいじめパトロール隊の高宮城修氏(写真①)を講師にお招きしました。具体的な事例を元に、スライドを放映しながら、分かりやすく説明していただきました。ネットやスマートフォンの依存による心身への弊害、ネットやスマートフォンを介したいじめやトラブルの怖さなどの実態を知り、それらを防ぐためのルールとマナーの大切さを学ぶことができました。

最後の「朝の読み語り」

3月2日(水)の朝、今年度最後の「読み語り」がありました。昨年まで、保護者による絵本の読み聞かせが中心でしたが、今年度から、校区外も含む地域の方々をお願いしてきました。語り部の皆さん(写



写真②

真②)、1年間、本当にありがとうございました。生徒たちが、目を輝かせて、熱心に聴く態度が素晴らしい(写真③)とお言めの言葉もいただきました。



写真③

金城詩乃さんの最後の作品



旧読書推進委員長の金城詩乃さんの「感謝」をテーマにした最後の作品です。4月から毎月欠かさず、丁寧に仕上げた作品を提供してくれました。1年間、本当にありがとうございました!!

スーパーバブルマシーン



卒業式の花道での「シャボン玉隊」のお手伝いができないかと考え、ネットで見つけました。おもちちゃですが、生徒会執行部に試してもらったら、結構使えそうです。楽しみに!!

「名護を教育都市に」

学習院大・佐藤教授が市長表敬 基地問題に連帯表明

【名護】「学びの共同体」による学校づくりの提唱者、佐藤学・学習院大学教授(写真左)は3日、名護市役所に稲嶺進市長(同右)を表敬訪問した。佐藤教授は市内の学校づくりの現状に触れ「名護でも高い水準の教育実践が生まれてきている。教育の希望のモデル都市をつくってほしい」と期待を寄せた。



稲嶺市長は「子どもたちの自己肯定感が大事。子育てや教育で、子どもが自信を持てるようにしていきたい」と応じた。佐藤教授は「最大の問題は子どもの貧困。子どもが希望や意欲を失ってしま

う現状がある。家庭教育に委ねるのでなく、社会で育てる意識が必要だ」と強調。「希望を見いだせれば学力は後から付いてくる。学びの主権者を育てることが大事。教育こそが最も将来性ある投資だ」と語った。



「安全保障関連法案に反対する学者の会」発起人でもある佐藤教授は辺野古新基地建設問題にも触れ、「民意を無視した基地押し付けは民主主義の破壊。反対の声を広げていく。市長は日本全体の希望だ。学者の会もできる限り協力したい」と連帯を表明した。